

ATL どんな病気?

HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) から
赤ちゃんを守りましょう。



HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) の検査について

- ATL (成人T細胞白血病) は、HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) というウイルスによっておこる病気です。
- お母さんがこのウイルスを持っていると、授乳等によって赤ちゃんに感染する可能性があります。
- 妊婦さんがウイルスを持っているかどうか調べるためには、血液検査をする必要があります。
- このウイルスは、エイズとまったく関係がありません。
- 詳しいことは産科もしくは小児科の主治医の先生におたずねください。



HTLV-Iから赤ちゃんを守りましょう Q&A

Q1：ATLとはどういう病気ですか？

(A) ATLは成人T細胞白血病 (adult T-cell leukemia) の略称で、HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) というウイルスが原因で発生する病気です。他に神経症状をおこすHAM (HTLV-I関連脊髄症) という病気をひきおこすこともあります。

Q2：キャリアとはどういうことですか？

(A) ウイルスが体の中に入っても、発病する人はほんの一部です。ウイルスは持っているが発病していない人のことを「キャリア」と呼んでいます。血液検査 (抗体検査) が陽性で、確認試験でも陽性の場合、キャリアと診断します。

お母さんがHTLV-Iキャリアであると授乳等によって赤ちゃんにHTLV-Iが感染する可能性があります。

Q3：HTLV-Iキャリアからの発病率は？

(A) 感染からおおむね40年以上 (平均55年) を過ぎたHTLV-Iキャリアから年間およそ1,000人に1人の割合で発病しているといわれています。タバコを吸っている人が肺癌になるのと同じくらいの確率です。

Q4：HTLV-Iはどのようにして感染するの？

(A) HTLV-Iの感染経路は、主にウイルスを持った母から子への母子感染であり、この他には輸血による感染、性行為による感染 (多くは男性から女性への感染) があることが知られています。

Q5：母から子への感染はどのようにしておこるの？

(A) HTLV-Iの母子感染のほとんどが母乳による感染です。この他に、胎児が体内にいるときの感染 (経胎盤感染)、出産時の感染 (経産道感染) 等が考えられていますが、現在のところはっきりとはわかりません。

Q6：母乳による児への感染を防ぐためにはどのような方法がありますか？

(A) 経母乳感染を防止するには、人工栄養とする方法が最も確実な方法ですが、次善の策として、3ヶ月までの短期間の授乳もしくは、凍結母乳を与える方法があります。

(参考) 1. 人工栄養児の感染の確率は、これまでの調査で約3%とされています。

2. 4ヶ月以上母乳を飲ませた場合、児に感染する確率は、最も新しいデータで約15%~25%と高くなっています。

3. 凍結母乳：母乳を搾乳した後、母乳パックに入れ家庭用冷凍庫に入れ一旦凍結させます。その後ぬるま湯で37℃くらい (体温と同じ) に温めて哺乳瓶で母乳を赤ちゃんに与える方法です。症例数は少ないのですが、感染率を3%程度まで減らすことが報告されています。

Q7：HTLV-Iはどうして母乳から感染するのですか？

(A) 授乳によって、母乳中の感染リンパ球が長期間に渡り赤ちゃんの体内に入ると、赤ちゃんに感染すると考えられています。凍結させると感染リンパ球が死んでしまい感染力がなくなってしまうとされています。

Q8：3ヶ月の授乳なら大丈夫ですか？

(A) この期間の授乳であっても感染が全く起こらないとはいいきれませんが、人工栄養と短期授乳との間に母子感染の確率に差はない、という報告があります。ただし、それ以上長期間になると感染率が高くなります。

Q9：赤ちゃんに感染したかどうかはどうやってわかりますか？

(A) 3歳過ぎの抗体検査でほぼわかります。お子さんへの感染の有無についてできるだけ早く知りたい場合は、1歳過ぎに抗体検査を受けてください。ただし、その検査結果が陰性でもその後の感染の可能性もあるといわれていますので、3歳以降に再度抗体検査をお勧めします。